

# 平成26年度「船舶海洋工学研修」について

海上技術安全研究所(海技研)では、大学における造船専門教育カリキュラムの減少や造船系大学卒の就業者が減少していることを踏まえ、若手研究員及び若手技術者が船舶海洋工学の基礎知識を短期集中で習得することを目的として「船舶海洋工学研修」を実施いたします。講義は海技研(東京都三鷹市)内で行いますが、テレビ会議システムを利用して、下記のサテライト会場においても研修を受講することが可能です。

▶期間: 平成26年6月2日(月)~6月20日(金)  
(土日を除く15日間)

▶会場及び受講者数:

＜本会場＞

**海上技術安全研究所**(東京都三鷹市新川6-38-1) 受講者:50名

＜サテライト会場(テレビ会議システムにより本会場と質疑を含めた双方向授業)＞

本年度は、下記6会場にて実施

**東日本造船技能研修センター** 受講者:10名

(**ジャパン マリンユナイテッド(株)**磯子工場内、神奈川県横浜市磯子区新杉田町12)

**相生技能研修センター** 受講者:20名

(**(株)JMU アムテック**内、兵庫県相生市相生5292)

**因島技術センター** 受講者:10名

(**内海造船(株)**因島工場内、広島県尾道市因島土生町2418-2)

**今治造船技術センター** 受講者:50名

(**旧今治コンピュータカレッジ**、愛媛県今治市東門町5-840-4)

**大分地域造船技術センター** 受講者:20名

(**佐伯重工業(株)**本社内、大分県佐伯市鶴谷町2-5-37)

**長崎地域造船機技術研修センター** 受講者:8名

(**(株)井筒造船所**内、長崎県長崎市戸町4-11-11)

▶講義内容:

各会場とも海技研本会場の研修カリキュラムになります。

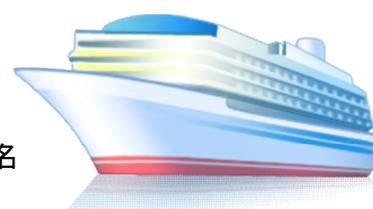
船舶海洋工学概論、流体力学(基礎・応用)、船体抵抗、推進性能、材料力学、構造力学、運動(基礎・応用)、機関、艀装、運航、基本計画、各講義の確認試験  
※基本的には平成24年度と同じ内容です

▶講師: 主として船舶海洋系大学教授、准教授、海技研職員

▶講義レベル: 理系大学卒業の初任技術者を想定した講義内容

▶受講料: 講義テキスト代の実費

▶申込期限: 平成26年5月2日(金)



## 参加申込先

＜三鷹本会場希望者＞

海上技術安全研究所

企画部研究業務課 川越 陽一

TEL:0422-41-3564

FAX:0422-41-3258

E-mail:kenkyu-gyomuka@nmri.go.jp

＜サテライト会場希望者＞

日本中小型造船工業会

常務理事 宮村 弘明

TEL:03-3502-2062

FAX:03-3503-1479

E-mail:miyamura@cajs.or.jp